

- ★「満足度」の高い項目は、
①「消防・防災・防犯体制の充実」、②「生活環境の充実と整備」、③「生涯を通じた健康づくり施策の充実」、④「文化財や伝統的建造物群の保護と保存」
- ★「満足度」の低い項目は、
①商工業の振興、②観光の振興、③行財政の効率化と強化、④医療体制の整備、⑤農林業の振興
- ★「重要度」の高い項目は、
①「医療体制の整備」、②「子育て支援の充実」、③「福祉施策の拡充」、④「学校教育・幼児教育の充実」、⑤「行財政の効率化と強化」
- ★「重要度」の低い項目は、
①「生涯学習・生涯スポーツの推進」、②「男女共同参画の推進」、③「コミュニティの育成と支援」、④「文化財や伝統的建造物群の保護と保存」

基本目標	施策	満足度	重要度	原因分析(※町政についての意見等)
住民参画 協働	《住民と行政の協働(P3)》	-0.20	1.07	※情報開示を積極的に行い、町のうわさ話で終わってしまう現状を役場はもっと考えて欲しい。広く町民の声を集め、いつも同じメンバーでの内々の会議はやめて欲しい/町の広報を読み返して見ましたが、少し読み辛さを感じました/インターネットからたくさん情報を収集できれば、より有田町とも関わられるかなと思います。
	《男女共同参画の推進(P6)》	0.75	0.75	男女共同参画の教育が行われているため、若い世代での性別による固定的な考えは少ない。しかし、高い年齢層を中心に性別による固定的な考えが根強く残っている。男女共同参画の啓発活動も進みにくい。
	《行財政の効率化と強化(P9)》	1.36	1.36	※民間に比べて、仕事のがんびりしすぎ。町民のために頑張っている姿が見られない/町職員の資質の向上を今すぐにも図って欲しい。まずは挨拶から/コストの安い町作りを目指して欲しい。
福祉・保健 医療	《生涯を通じた健康づくり施策の拡充(P13)》	0.23	1.33	※がん検診の受診料金が大変高いため受診できない。
	《福祉施策の拡充》	0.06	1.42	※障がい者の方にも、いっぱい雇用して欲しい/定年者の方でも、まだまだ働ける意思がある方は働かせて欲しい/介護保険料が他県より高いと思います。
	《医療体制の整備》	-0.43	1.51	※公立病院の人材育成と受け入れ体制を充実して欲しい/町内に耳鼻科、眼科の医院があると良いと思います。
	《子育て支援の充実(P24)》	-0.16	1.45	※子育てしていくことは体力もですが、お金も必要であり、補助があれば子どもの数も増えると思います/将来有田町を担う子ども達の育成にもっと力を入れて欲しい。町内に子ども達が遊べる広場があるととてもよくなると思う/町立保育園が閉鎖的で、何年前の保育をされているのだろうかと思う。
生活環境 基盤	《資源循環型社会の構築(P27)》	-0.06	1.09	※新エネルギーへの参入/ゴミの分別が楽になって本当に助かりました/リサイクル少しでも町・区の財源になるんですとのアピールの方がよいと思う。
	《道路交通体系の整備(P31)》	-0.12	0.88	※計画的に道路補修を行って欲しい/歩道の雑草により車の往来が見えづらい/車なしでは買物、通院が出来ないので、きめ細かい交通の便が欲しいと思っております。
	《生活環境の充実と整備(P35)》	0.28	1.28	※脱サラして自然豊かな土地で新しい人生を始めようとしている若者や若い夫婦が、これからさらに増えるような気がします。そういう都会のしがらみを卒業する若者たちの受け皿になってほしいと思います/空き家が多くなるので上手く利用して行くほうが大切/町中の空き家のリノベーションを推進したほうがよいと思います。
	《消防・防災・防犯体制などの充実(P40)》	0.34	1.31	※街灯設置も計画的な設置を推進して欲しい。
産業振興 観光	《商工業の振興(P46)》	-0.58	1.10	※産業を守りつつ、新企業を誘致し、若い人材が町内にたくさん働ける環境を作ってほしい。現状では自分の子どもに町内で働いて欲しいとは言えない/春秋シーズン前になると素地屋さん不足で窯上りに2か月もかかる時代となり大変な状況です/窯業界が心配です。伝統に縛られるすぎて新しい風が入りづらいような気がします。
	《農林業の振興(P51)》	-0.33	1.06	※段々と休耕地が多くなりどうなるんだろう/高齢の農家の増加に伴い、若者をバイトや派遣等、組織で雇用し収入を得られるなど、考えてみてほしいのでは/農業の方にも目を向けて町政を行ってください。
	《観光の推進(P56)》	-0.52	1.20	※有田のブランドである窯業を看板に立てて、農産物や名水といった自然の恵みも取り入れてPRしてはどうか/宣伝、コマーシャル能力が足りていない/ビジネスホテルを作してほしい/「暮らすように旅する」場所として相応しい。新しい時代の観光に対応すべく取り組んでいただきたい。
教育・文化	《学校教育・幼児教育の充実》	-0.05	1.39	※自然豊かな地元の食材を活用した食育/旧西有田の児童は旧有田へ焼き物づくりへ。旧有田の児童は旧西有田へ米づくりに交換留学/若者の流出を防ぐため、専門の学校や資格取得のための受講コース等を考えて欲しい。
	《伝統文化の保護・地域文化の育成》	0.00	0.81	民俗行事や浮立などの伝統芸能を継承する地域団体の支援などを実施してきたが、後継者の育成が最大の課題となっている。
	《文化財や伝統的建造物群保護と保存(P67)》	0.10	0.79	有田町に所在する文化財の歴史的価値の認識を高めるよう、町民はもとより広く周知を図る必要がある。
	《生涯学習・生涯スポーツの推進(P71)》	0.09	0.66	図書館の蔵書や講座の充実を図ってきた。
	《地域づくりのための人材育成》	-0.21	1.12	地域の連帯感が希薄になりつつあり、今後の集落機能の維持や活動が危ぶまれている。
	《コミュニティの育成と支援》	-0.04	0.75	※地域によっては伝統がしがらみや不自由さを招いています。多様性を受け入れ、新しい時代の風を受け入れながら老若男女が伸び伸びと生活できる雰囲気づくりが重要であると思います。

「満足度」と「重要度」は、平均評定値(加重平均値)を算出する方法で点数化している。
 ◎「満足度」については、「満足」「やや満足」への回答とともに、「やや不満」「不満」「どちらともいえない」という回答もある。この「満足度」をより的確に分析するため、平均評定値(加重平均値)による指標化を行った。
 ◎平均評定値(加重平均値)は、「満足」に+2点、「やや満足」に+1点、「やや不満」に-1点、「不満」に-2点、「どちらともいえない」に0点の係数を設定し、無回答件数を考慮した計算で、指標としている。
 ◎重要度についても、同様な算出方法で平均評定値を算出している。

【住民参画・協働部会 主な成果の目標指標】

《住民と行政の協働(P3)》

項目	単位	平成18年度	平成24年度		平成29年度		原因分析(※町政についての意見等)
		(実績)	(見込)	(実績)	(目標)	(実績)	
公募を行う審議会などの数	団体	2	10	2	10	2	専門的意見を求める場合が多く、現状は、各種団体に委員の推薦をお願いしている。
NPO法人数	団体	3	5	10	10	10	震災後、ボランティア団体の法人格の必要性よりNPO法が制定され、NPO法人の設立が増えたが、最近では、代表者の高齢化、事務の煩雑さ、事業の制限等より新規設立がなく、休業状態の団体が増えている。
公共施設の指定管理者への委託状況	件	1	3	3	5	3	公的な施設が指定管理者制度に馴染むか、馴染まないかを総合的に判断した上で導入している。当初計画では、赤絵座・ろくろ座が想定されていたと思われるが、直営を維持することで、伝統産業の後継者育成に繋がると判断された。

《男女共同参画の推進(P6)》

項目	単位	平成18年度	平成24年度		平成29年度		原因分析(※町政についての意見等)
		(実績)	(見込)	(実績)	(目標)	(実績)	
委員会・審議会への女性参画状況	%	19.3	23.0	19.7	30.0	18.8	男女共同参画への意識改革は進んでいるが、まだ実際の委員会・審議会への参画には、結びついていない。

《行財政の効率化と強化(P9)》

項目	単位	平成18年度	平成24年度		平成29年度		原因分析(※町政についての意見等)
		(実績)	(見込)	(実績)	(目標)	(実績)	
職員総数	人	233	205	229	190	185	消防職員の一部事務組合への割愛、退職者の採用抑制(一部補充)によるもの。
町税収納率	%	88.1	91.0	92.3	93.0	96.8	コンビニ納付等納付機会の拡大及び滞納処分の徹底による。

【福祉・保健・医療部会 主な成果の目標指標】

《生涯を通じた健康づくり施策の拡充(P13)》

《子育て支援の充実(P24)》

項目	単位	平成18年度	平成24年度		平成29年度		原因分析(※町政についての意見等)
		(実績)	(見込)	(実績)	(目標)	(実績)	
延長保育事業	箇所数	7	9	9	8(※2)	8	延長保育・一時保育・障害児保育事業については、町内保育所全園が取り組みを行っている。また、休日保育事業については町内保育所1園が実施、病後児保育事業については町内保育所と町外医院への委託を含め2箇所で実施しており、子育て支援の充実に努めている。
一時保育事業	箇所数	10	9(※1)	9	8	8	
休日保育事業	箇所数	1	1	1	1	1	
病後児保育事業	箇所数	0	1	1	1	2(※3)	
障害児保育事業	箇所数	10	9(※1)	9	8	8	
地域子育て支援センター設置	件数	0	0	0	1	0	地域子育て支援センターについては、実施に向け関係各所と協議を行っているところである。実施場所(施設)を確保し、早期実現に努めたい。

(※1): すがの保育園が休園となったため1減

(※2): H29おおぎ、やまだに、しらかわがマイナスで、おおやま、ルンビニーがプラス

(※3): 病後児保育は嬉野に加えて、H29より同朋天神が実施

【生活環境基盤部会 主な成果の目標指標】

《資源循環型社会の構築(P27)》

項目	単位	平成18年度	平成24年度		平成29年度		原因分析(※町政についての意見等)
		(実績)	(見込)	(実績)	(目標)	(実績)	
住民一人当たりのゴミ排出量	g/日	808	715	792	710	772	目標と比べ排出量はまだ多い状況ではあるが、ゴミの分別や減量化の意識が高まりつつある。
リサイクル率	%	15.0	16.0	8.9	17.4	16.4	アルミ缶や古紙等の搬入量が減っており、古紙回収業者等に出されていると思われる。29年度は、さが西部クリーンセンターにおいてスラグやメタルの回収量が多くなったため増加している。

《道路交通体系の整備(P31)》

項目	単位	平成18年度	平成24年度		平成29年度		原因分析(※町政についての意見等)
		(実績)	(見込)	(実績)	(目標)	(実績)	
幹線町道の歩道設置率	%	18	25	25	26	25	1級・2級町道について、道路改良による歩道設置により、目標の数値近くまで実現できた。
学校から半径500m区域の幹線道路の歩道設置率	%	77	82	82	85	82	歩道未設置箇所は道路に面して住宅等が張り付いた場所も多く、歩道設置のための道路拡幅工事を行うには、地権者から用地買収だけでなく住宅等の損害補償まで必要となる場所もあり、目標数値までは実現できなかった。
幹線町道の改良率	%	99	99	99	99	99	未改良の1級・2級町道の一部について改良工事を行っているが、元々、未改良の幹線道路が少ないため、改良率の上昇は数値としては上がっていない。
道路整備基準などの各種計画や基準の策定	件	1	1	1	4	1	歩道整備や道路の維持管理等に関する基準も策定することを想定していた。現場の優先度合いに応じてそれぞれに対応を行っており、基準を設けるところまでは至っていない。
橋梁補修率	%	-	8.8	4.4	100	31.1	平成24年度分は当年度で工事が完了せず、次年度への繰越となったものが一部あったため。また平成25年10月に長寿命化修繕計画を策定し、当初想定時よりも多い45橋がその時点で修繕必要と判断したため、最終の実績数値は低くなった。

《生活環境の充実と整備(P35)》

項目	単位	平成18年度	平成24年度		平成29年度		原因分析(※町政についての意見等)
		(実績)	(見込)	(実績)	(目標)	(実績)	
汚水処理整備普及率	%	52	71	69.3	86	76.9	土質が硬い岩盤で施工に時間を要した。又、事業費が増大したため。
アダプト・プログラム登録団体数	件	0	0	0	5	0	除草作業などを地元へ委託しているが、アダプトプログラムとして確立するには至っていない。

《消防・防災・防犯体制などの充実(P40)》

項目	単位	平成18年度	平成24年度		平成29年度		原因分析(※町政についての意見等)
		(実績)	(目標)	(実績)	(目標)	(実績)	
火災発生件数	件	17	⇩	4	⇩	⇩	住宅用火災報知器の設置が進むとともに、野焼きのとりやめなど防火意識の高まりが考えられる。

【産業振興・観光部会 主な成果の目標指標】

《商工業の振興(P46)》

項目	単位	平成18年度	平成24年度		平成29年度		原因分析(※町政についての意見等)
		(実績)	(見込)	(実績)	(目標)	(実績)	
製造品出荷額	百万円	2,462※	2,671	2,624	↗	2,964	製造業の全体的な底上げと有田焼創業400年事業等による効果
誘致企業による雇用の増加	人	0	90	108	500	139	南部工業団地の整備方法の変更に伴う企業誘致の遅れ

(※)資料:工業統計調査

《農林業の振興(P51)》

項目	単位	平成18年度	平成24年度		平成29年度		原因分析(※町政についての意見等)
		(実績)	(見込)	(実績)	(目標)	(実績)	
集落営農体数	集落	3	7	7	10	10	目標を達成することができた。(楠木原、上内野、山本、立部、下山谷、切口、二ノ瀬、北ノ川内、大木宿、有田東部)

《観光の推進(P56)》

項目	単位	平成18年度	平成24年度		平成29年度		原因分析(※町政についての意見等)
		(実績)	(見込)	(実績)	(目標)	(実績)	
観光客数	万人	224	230	228	280	250	全国的な景気低迷や団体旅行の減少など、当初予測できなかった観光に関する各種要因の大きな変化

【教育・文化部会 主な成果の目標指標】

《文化財や伝統的建造物群保護と保存(P67)》

項目	単位	平成18年度	平成24年度		平成29年度		原因分析(※町政についての意見等)
		(実績)	(見込)	(実績)	(目標)	(実績)	
伝統的建造物の修理・修景	件数	84	102	102	125	114	伝統的建造物等の修理事業は、文化財として価値のある建物を後世に残していくため、繰り返し修理していきます。

《生涯学習・生涯スポーツの推進(P71)》

項目	単位	平成18年度	平成24年度		平成29年度		原因分析(※町政についての意見等)
		(実績)	(見込)	(実績)	(目標)	(実績)	
貸出図書数	冊	53,264	62,000	77,050	70,000	91,000	蔵書の充実を図った事で、利用者のニーズ対応が更に可能となった。平成28年度には、貸出し図書数がひとり5冊から10冊に増えたことが貸出し数の増加に繋がっている。
図書の予約、リクエスト数	件	-	2,065	1,398	2,950	1,600	平成18年度実績数は不明。館内蔵書数が増え、利用者ニーズに幅広く対応できるようになったことから、予想値よりも低い数値で抑えることができている。
図書館来客者数	人	35,079	42,000	45,928	45,000	46,600	24年度実績で29年度目標数達成。蔵書の充実や清潔な環境整備を心がけ、来館者は年々増加している。
講座受講者数	人	360	400	355	440	650	講座数の充実を図ったことで受講者の増加に繋がった。
各種サークルなどへの参加人数	人	510	560	639	620	685	24年度実績で29年度目標数達成。平成24年度62団体から平成29年度は68団体へサークル数が増えた。